

2026年度事業計画



Hokkaido
Airports

北海道エアポート株式会社

■ 取組方針

第二期中期事業計画（2025年度～2029年度）及びHAP2030ビジョンの実現に向け、柔軟性とスピード感をもちながら、運営7空港への**積極的な路線誘致（国際線・国内線）**、旅客をはじめとする空港利用者の利便性向上など空港機能の維持・強化のための投資を着実に実行し、**魅力ある空港づくり**を目指します。また、安全安心を基盤とする空港運営を行うとともに、地域の交通・交流拠点として、**ステークホルダーと一緒に発展していける空港づくり**を進めてまいります。

<積極的な路線誘致>

自治体等地元関係者とも連携の下、7空港一体で戦略的に路線誘致を行うとともに、受入環境整備も含めた応需体制の強化を図り、航空ネットワークの充実・拡大に取り組みます。

<魅力ある空港づくり>

安全安心の空港運営を基本としながら、空港利用者の利便性向上のための投資を着実に実施し、旅客のみならず地元の人たちにも利用してもらえるような魅力的な空港を目指します。

<ステークホルダーと一緒に発展していける空港づくり>

空港所在自治体をはじめとする地域の方々や、従業員を含む空港・航空関連従業員の皆様と一体となって事業を推進し、全てのステークホルダーの持続的発展・成長に貢献します。

（参考）中期事業計画における重点テーマ

- ① 安全安心・空港満足度向上
- ② 旅客数目標達成・応需体制強化
- ③ 収益力向上・コスト構造改善
- ④ 観光の高付加価値化・新たな来道需要創出
- ⑤ GX・DXに関する取組（サステナビリティ・SDGs）
- ⑥ HAP2030ビジョンを契機としたエンゲージメント向上
- ⑦ 産業集積等を契機とした空港機能強化

■ 旅客数等の目標値

- 2026年度の旅客数目標は、足元の実績や今後の運航計画等を踏まえ、7空港合計で国内線2,721万人、国際線526万人、合計3,247万人を目指します。

		新千歳	稚内	釧路	函館	旭川	帯広	女満別	7空港計
旅客数 (万人)	国内線	2,152	19	80	190	121	72	86	2,721
	国際線	483	0.3	0.9	23.8	9.9	7.3	0.4	526
	合計	2,636	19	81	214	130	79	86	3,247
貨物量(千t)		175.5	0.1	1.5	4.4	4.7	0.5	0.9	187.7

■ 損益計画

- 営業収益は688億円、EBITDAは292億円、営業損益は85億円となる見込み。

	2026年度
営業収益※1	688億円
売上原価 + 営業費用	603億円
営業損益	85億円
EBITDA※2	292億円

※1 新収益認識基準を適用（旧基準：1,293億円）

※2 営業損益に減価償却費を足し戻した経営指標

■安全安心を基盤とする空港運営、持続的かつ効率的な事業運営体制の構築

●安全安心を基盤とする空港運営に向けた取組

- ・ 重大インシデント事案対応等を踏まえたHOC支援体制を含むリスクマネジメント体制の見直し・強化
- ・ 就航便数や旅客数、関連事業者の増加等に伴う空港内事故発生防止に向けた取組の加速
- ・ 保安検査実施主体移行に係る体制構築等に向けた検討と準備

●持続的かつ効率的な事業運営体制の構築に向けた取組

- ・ 組織の合理化及びDX等も活用した業務効率化による生産性向上と管理コストの抑制
- ・ 施設整備に係る原価回収を通じた将来への投資原資の確保
- ・ 中計達成に向けた目標管理の高度化と成長機会の提供による人材育成・従業員エンゲージメントの向上

■航空ネットワークの拡大・魅力ある空港づくりを通じた地域と一体での持続的発展

●航空ネットワーク拡大に向けた取組

- ・ 7空港一体での航空営業、着陸料等の割引制度・インセンティブを活用した積極的な路線誘致の実施
 - ✓ 新千歳の就航受入の最大化に向けたスロット有効活用（東南アジア等）、函館・旭川・帯広の国際線定期便等の拡大、その他空港の定期便就航を見据えたチャーター便誘致に向けた営業
 - ✓ インバウンド旅客の国内線乗り継ぎ需要の取り込みを含めた利用促進施策の検討
 - ✓ ターゲット路線の新規就航・利用促進に向けた地域との連携による需要喚起（アウトバウンド利用等）
- ・ 各空港の課題に応じたグランドハンドリング等の応需体制強化に係る関係者との協業
 - ✓ 「道内空港受入体制整備実行委員会事業」をはじめとする地域と連携した応需体制の構築
 - ✓ 空港利用者の増加を見据えた各種ボトルネック課題の解決のための投資の実施
- ・ 道内航空ネットワークの拡大（丘珠空港との連携含む）や二次交通との連携を通じた道内周遊の促進

●魅力ある空港づくりを通じた地域と一体での持続的発展

- ・ 自治体等と連携した空港周辺地域に関する情報発信および二次交通連携による誘客・送客機能の強化
- ・ 新千歳ビジネスジェット専用ターミナルのサービス拡充による高付加価値旅客の来道需要喚起
- ・ 地域産業振興と連動した空港機能強化、交流人口・関係人口創出に向けた自治体・地域企業との協業



▲稚内空港／除雪自動化実証実験



▲新千歳空港／カンタス航空就航再開



▲釧路空港／滑走路マラソンイベント

■ 航空需要に応じた空港処理能力向上や安全性向上に向けた各種投資の推進

- ・ 安全安心の空港運営に向けた計画的で着実な更新投資の実施
 - ・ 航空需要を踏まえた処理能力向上や利便性向上に向けた拡張投資の検討・実施
 - ・ 収益基盤の確立に向けた投資対効果を踏まえた各種新規投資の検討・実施
- **7 空港共通**
 - ・ 安全・安心な空港運営に資する滑走路、誘導路、航空灯火等の更新に係る設計及び工事
 - ・ 旅客ターミナルビル設備関連改修等に関する設計及び工事
 - ・ 脱炭素化推進計画に基づく各空港のカーボンニュートラル化に向けた各種施策の検討・実施
 - **新千歳空港**
 - ・ 国内線施設等改修（保安検査場改修含む）に係る設計の継続及び工事
 - ・ 国際線施設改修に係る設計の継続及び工事
 - ・ 駐車場拡張に係る設計の継続
 - **稚内空港**
 - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続
 - ・ 老朽化設備改修工事
 - **釧路空港**
 - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続
 - **函館空港**
 - ・ 国際線施設改修に係る設計
 - **旭川空港**
 - ・ 国内線施設改修（搭乗待合室拡張含む）に係る設計の継続及び工事
 - **帯広空港**
 - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続
 - **女満別空港**
 - ・ 国内線施設改修（保安検査場改修含む）に係る設計の継続及び工事



▲新千歳空港／国内線保安検査場改修工事(イメージ)



▲稚内空港／巡回灯LED化工事



▲函館空港／商業改修（フードコート化）

■ 2026年度 設備投資計画

		活性化投資	機能維持投資	合計	主な投資内容
投資額合計		56.5億円	166.6億円	223.1億円	
本社	エアサイド	0.0億円	6.9億円	6.9億円	■ 活性化投資 新千歳空港 : 国内線施設等改修(保安検査場改修含む)に係る設計の継続及び工事 国際線施設改修に係る設計の継続及び工事 駐車場拡張に係る設計の継続 稚内空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続 老朽化設備改修工事 釧路空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続 函館空港 : 国際線施設改修に係る設計 旭川空港 : 国内線施設改修(搭乗待合室拡張含む)に係る設計の継続及び工事 帯広空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続 女満別空港 : 国内線施設改修(保安検査場改修含む)に係る設計の継続及び工事 ■ 機能維持投資 エアサイド : 空港基本施設に係る更新投資、除雪・消防車両更新等 ランドサイド : 旅客ターミナルビル設備等に関する修繕投資、PBB更新等 本社 : サイバーセキュリティ対策、オペレーションシステム統合・更新、データベース統合・更新等
	ランドサイド	1.6億円	2.2億円	3.8億円	
新千歳 (含むCFF)	エアサイド	4.6億円	34.2億円	38.7億円	
	ランドサイド	34.5億円	84.9億円	119.3億円	
稚内	エアサイド	0.0億円	4.2億円	4.2億円	
	ランドサイド	3.0億円	0.1億円	3.1億円	
釧路	エアサイド	0.0億円	6.4億円	6.4億円	
	ランドサイド	0.0億円	2.4億円	2.4億円	
函館	エアサイド	0.0億円	2.3億円	2.3億円	
	ランドサイド	0.3億円	5.4億円	5.7億円	
旭川	エアサイド	0.0億円	2.5億円	2.5億円	
	ランドサイド	1.8億円	1.8億円	3.6億円	
帯広	エアサイド	0.0億円	1.2億円	1.2億円	
	ランドサイド	1.6億円	1.7億円	3.3億円	
女満別	エアサイド	0.0億円	7.8億円	7.8億円	
	ランドサイド	9.1億円	2.5億円	11.7億円	

スローガン ▶ ともに創る、北の空と大地の未来



HAP2030ビジョン

7つの視点から、北方圏の空港運営のリーディングカンパニーを目指します

我々が目指すゴール

北海道を元気にし、未来に貢献する会社を実現します



本中期事業計画における7つの重点テーマ

- | | | | |
|---|--|------------------------------|----------------------------------|
| 1 安全安心・
空港満足度向上 | 2 旅客数目標達成・
応需体制強化 | 3 収益力向上・
コスト構造改革 | 4 観光の高付加価値化・
新たな来道需要創出 |
| 5 GX・DXに関する取組
(サステナビリティ・SDGs) | 6 HAP2030ビジョンを契機と
したエンゲージメント向上 | 7 産業集積等を契機とした
機能強化 | |

KPI※	旅客数合計	国内旅客数	国際旅客数	EBITDA	総投資額
	3,423 万人	2,730 万人	693 万人	416 億円	1,189 億円

※本中期事業計画終了時点 (2029年度)